

2 0 0 6 年 6 月 2 8 日

株式会社 富士経済
〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町
2-5 F・Kビル
TEL.03-3664-5811 FAX.03-3661-0165
URL : <http://www.group.fuji-keizai.co.jp/>
URL : <https://www.fuji-keizai.co.jp/>
広報部 03-3664-5697

ファーストフード、テイクアウトなど外食産業 6 カテゴリー市場の調査を実施

- 駅構内飲食店市場は 2 0 0 6 年に 2,160 億円の見込み (前年比 105%) -

総合マーケティングビジネスの(株)富士経済(東京都中央区日本橋小伝馬町 代表取締役 阿部英雄 03-3664-5811)は、2006年4月～5月にかけて外食産業6カテゴリーの市場を調査し、その結果を報告書「外食産業マーケティング便覧2006(上巻)」にまとめた。上巻では、ファーストフード、テイクアウト、ホームデリバリー・ケータリング、料飲店、交通機関、レジヤ施設についての調査を行った。

調査結果の概要

< カテゴリー別市場 >

カテゴリー	2005年	2006年見込み	前年比
ファーストフード	2兆3,917億円	2兆4,604億円	103%
テイクアウト	5兆7,927億円	5兆8,520億円	101%
ホームデリバリー・ケータリング	1兆2,076億円	1兆2,162億円	101%
料飲店	6兆6,115億円	6兆5,870億円	100%
交通機関	1,136億円	1,133億円	100%
レジヤ施設	1兆 527億円	1兆 578億円	101%

ファーストフード

外食産業の中で、ファーストフードはプラス基調で推移している。中でもアイスクリームショップはスムージーやパフェをメニューに加え、旬の果物を使う季節メニューを販売するなどで消費者からの人気を集め、市場が拡大している。ピピンバは希少性のあるメニューとして認知が浸透し、定食チェーンは和食主体の健康面と価格バランスの良さが受け入れられ、拡大推移している。また、BSEや鳥インフルエンザ発生のダメージを受けていた牛丼、ステーキ、チキンも、他国産牛肉の調達、牛肉以外のメニュー提案によって回復を果たしている。

テイクアウト

消費者の簡便志向などから、新規参入や既存企業の出店意欲の高まりにより市場は拡大を続けている。テイクアウト弁当・惣菜、CVSデリカ、量販店デリカなどは日常の需要を確保し、百貨店デリカは外食並みのおいしい惣菜を気軽に購入できるということでそれぞれ需要を維持している。その一方で、テイクアウトずし、ベーカリーショップは他業種との激しい競合から市場を縮小させており、明暗を分けている。

ホームデリバリー・ケータリング

停滞していた市場は、2003年以降は下げ止まりを見せている。特に最大の市場である仕出し弁当・ケータリングがこれまでのマイナス推移から2006年にプラスに転じている。上位チェーンの積極出店が見込まれており、一部ではあるが客単価の上昇も見られ、市場の回復傾向を裏付けるような明るい材料が見られる。高齢化の進展や生活習慣病予備軍の増加などから、病者・高齢者食宅配も伸長を続けている。

料飲店

バブル崩壊以降、宴会・接待需要の減退を受けて市場は縮小を続けてきた。2005年には大きな比重を占める居酒屋・炉端焼が上向き、徐々にマイナスが小さくなっており、今後は回復が期待される。

交通機関

低迷が続いている交通機関の中で、近年、「駅ナカ」の呼称でブームとなっている駅構内飲食店が好調に推移している。駅構内という集客力のある立地条件に加えて、鉄道各社が駅ナカ開発を推進していること、それに伴ってディベロッパーの開発が進展していること、また消費者にとっても駅の魅力が向上していることなどが相まって、大規模な駅ナカ商業施設も市場拡大の追い風となっている。レジャー産業の多様化や余暇支出の抑制などを背景に、客船食堂や列車内食は依然苦戦を強いられている。

レジャー施設

横ばい推移が続いている。スキー場やレジャーランド、ギャンブル場など古くからのレジャー施設の低迷が著しい。スーパー銭湯、シネコン、フードテーマパーク、複合カフェなどは好調で、明暗がくっきり分かれている。これは細分化するレジャーへのニーズに対して、単一のコンテンツでは対応できなくなっていることに起因している。最近では主軸となるサービスに飲食事業など他の機能・サービスを付帯するといった複合化が集客力の向上に不可欠となっている。

<注目市場>

定食チェーン 2005年 730億円 2006年見込み 835億円(前年比 114%)

定食チェーンは、1980年から90年代にかけて「大戸屋」「大衆食堂半田屋」などがチェーン化に取り組みはじめた。ファミリーレストラン運営企業も1990年代から「めしや」などのチェーン展開に乗り出している。市場は、ファミリーレストランやファーストフードに食傷気味の消費者に、家庭的で手作り感のある食事を清潔感のある店内で手軽に利用できる点が支持されて、1990年代から成長を続けている。2005年、2006年も健康訴求のあるメニュー内容と価格バランスのよさに利便性の高さが幅広い需要層に浸透している。「まいどおおきに食堂」の店舗数拡大や「大戸屋ごはん処」「めしや宮本むなし」の続伸などで市場は拡大している。

アイスクリームショップ 2005年 386億円 2006年見込み 425億円(前年比 110%)

90年代に入って、ダイエット・ヘルシー志向や甘味離れに加えて、小売商品でプレミアムアイスクリームが普及したことで目新しさが失われ需要が減退した。更に参入各社が急速な店舗展開を行ったことで不採算店が続出し、縮小した。トップの「サーティワンアイスクリーム」が2000年からの既存店の改装を進め回復し、猛暑となった2004年から市場はプラスに転じている。近年は「マリオジェラテリア」「ディップドッツ・アイスクリーム」など新興勢力が順調に定着しつつある。2005年に日本に上陸した「コールド・ストーン・クリーマリー」も歌いながら混ぜ込むという演出効果などが話題となっている。これにトップ「サーティワンアイスクリーム」が合わさる形で市場が活性化し、高い伸びが続いている。

牛丼 2005年 2,095億円 2006年見込み 2,215億円(前年比 106%)

2005年は、メニューミックスを取り入れた「吉野家」が回復し、牛丼販売を再開した「松屋」「すき家」も順調に推移し市場は回復した。2006年も「吉野家」「松屋」が米国産牛肉使用の牛丼販売に向けて動いていることから、早ければ9月上旬にも商品として提供される見通しとなっている。各参入チェーンともに牛丼以外のメニューで成長する仕組みができており市場は回復が見込まれる。

駅構内飲食店 2005年 2,065億円 2006年見込み 2,160億円(前年比 105%)

2005年はJR東日本ステーションリテイリングが運営する「エキュート大宮」(開業3月)と「エキュート品川」(開業10月)更に東京メトロの「エチカ表参道」(同12月)など大規模な新規スポットが相次いで完成している。「エキュート」ではなじみのあるブランドから新奇性の高いブランドまで様々なテイクアウト・イートイン業態が集まっている。「エチカ表参道」ではクリエイト・レストランツが6店舗208座席のフードコート「MARCHÉ DE METRO」を開店するなど、市場は活況を呈した。今後JRだけでなく私鉄や地下鉄でも積極的な駅ナカ事業展開を進めていることから、市場は拡大が予測される。

<調査対象>

カテゴリー	対象
ファーストフード	ハンバーガー、チキン、ドーナツ、サンドイッチ、クレープ、アイスクリーム、ギョーザ、ラーメン、カレーショップ、ステーキ、立ち食いそば・うどん、クイックパスタ、回転ずし、たこ焼き・お好み焼き類、牛丼、天丼、海鮮丼、とんかつ・かつ丼、ビビンバ、定食チェーン
テイクアウト	テイクアウト弁当・惣菜、デリカショップ、おにぎり、テイクアウトずし、ベーカリーショップ、百貨店デリカ、百貨店スイーツ、CVSデリカ、量販店デリカ、ホテルデリカ、シュークリーム専門店
ホームデリバリー・ケータリング	宅配ピザ、宅配ずし、宅配中華料理、宅配弁当、宅配釜めし、FR宅配、病者・高齢者食宅配、仕出し弁当・ケータリング
料飲店	居酒屋・炉端焼、アップー居酒屋、アップーミドル居酒屋、やきとり専門店、ビアレストラン、地ビールレストラン、ディスコ・クラブ、カフェバー・ショットバー、スナック・クラブ・パブ
交通機関	駅構内飲食店、列車内食、機内食、有料道路SA・PA、客船食堂
レジャー施設	ゴルフ場、スキー場、健康ランド・スーパー銭湯、レジャーランド、野球場、映画館・シネコン、フードテーマパーク、ギャンブル場、カラオケボックス、複合カフェ

<調査方法>

富士経済専門調査員によるヒアリング調査および各種統計資料等による文献調査

<調査期間>

2006年4月～2006年6月

以上

資料タイトル：「外食産業マーケティング便覧 2006（上巻）」

体 裁 ： A4判 191頁

価 格 ： 98,000円（税込み 102,900円）

調査・編集 ： 富士経済 東京マーケティング本部 第1事業部

TEL:03-3664-5831（代）FAX:03-3661-9514

発 行 所 ： 株式会社 富士経済

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町2-5 F・Kビル

TEL03-3664-5811（代）FAX 03-3661-0165 e-mail:info@fuji-keizai.co.jp

この情報はホームページでもご覧いただけます。URL:<http://www.group.fuji-keizai.co.jp/>

URL:<https://www.fuji-keizai.co.jp/>